

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2016～2017年度 国際ロータリー ジョンF. ジャーム 会長テーマ

Rotary serving humanity 人類に奉仕するロータリー

創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 加藤 哲也  
幹事 久米 博明  
会報委員長 鬼頭 一浩

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2950回例会プログラム

[当年度=18回目；当月=4週目]

2016年（平成28年）11月28日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 幹事報告  
9. 出席報告  
10. 委員会報告  
11. ニコニコボックス報告  
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(12/5) ……  
地区出向者アワー 小川 耕示 会員  
" 神谷 強 会員  
(12/12) ……クラブ総会  
次年度理事役員選出
- 13:00 13. 本日のプログラム  
新入会員アワー 高橋 満典 会員  
" 古屋 俊児 会員
14. 謝辞  
15. 点鐘……〈会長〉  
16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

ビ ジ タ ー

岡崎東RC 梅村 順一様

## 出席

会員総数 95名 出席免除 26名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名  
欠席 9名 出席率 89.53%  
前々回(11/14)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 国際ロータリー第2760地区より、加藤英樹会員に「公益財団法人ロータリー米山記念奨学生選考の面接官」の委嘱状が届いています。
- 2) 11月23日西三河分区ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会が開催され、盛田豊一会員が3位入賞され、団体で2位となりました。
- 3) 同時開催の11月ゴルフ例会では鬼頭一浩会員がグロス82、ネット72で優勝されました。

## 幹事報告

- 1) 本日例会終了後、事務局にて理事会を開催致します。ご関係者のご出席をお願い致します。

## 会長あいさつ

## 落語“風呂敷”

加藤 哲也



兄貴分として世話好きで通っている男のところへ、近所の女房が駆けこんできた。

「大変なことになってしまって」

寄り合いで亭主が遅くなるというので、湯へいってのんびり茶を飲んでいたら、近くの新さんがやってきた。お茶でもと家にあげ、話をしていたら、遅くなるはずの亭主が酔っ払って帰ってきてしまった。

「うちの亭主はものすごい焼き餅だから」

とにかく新さんをあわてて押入れに隠したのだという。

すぐに寝ると思ったが、今日にかぎって酔っているくせに、亭主はなかなか寝ない。寝ないばかりか新さんを隠した押入れの前に、どっかと座ってしまった。そこで、なんとかうまくごまかしてもらえないかというのが女房の頼みだ。

「しょうがねえな」

話を聞いた兄貴分は、ひとしきりその女房にちょっとピントのずれた説教をしたあと、頼みを聞き入れ、女房を先に帰らせて自分は大きな風呂敷を持って出かけた。

家をのぞくと、亭主がプンプンしながらあぐらをかいている。

「どうしたい」

亭主は、せっかく早く帰ってきたのに、女房のやつがうれしそう顔もせず、やたら寝かせようとばかりする。どういう見だど文句たらたら。ひとくさり不平を言ってから、ようやく兄貴分の用件を尋ねた。

「今時分、何か用かい」

そこで兄貴分は、近所のごたごたを治めてきたついでにちょっと寄ったんだと話しだした。女房が間男を引きいているところへ、その家の亭主が帰ってきた、それで俺が頼まれてさ。自分のことだとは知らず、亭主は思わず身を乗りだして聞かせる。

「兄貴はどうやってかたをつけたんで」

兄貴分は用意した風呂敷を取りだし、亭主の頭からかぶせた。

「この風呂敷を持ってよ。その野郎にこういうふう」前が見えないように風呂敷を押さえ、

「見えねえだろう。で、押入れをあけたんだ」

亭主は風呂敷の中でうんうんとうなずいている。女房がそっと押入れをあけ、新さんを外へ出す。

「忘れもんすんなよ。ゲタも間違えちゃいけないよってね」

新さんが表へ出たのを確かめてから、風呂敷をとり、

「で、パッと風呂敷をね」

亭主はすっかり感心し、

「そうかあ。そうりゃうまいくふうだ」

## 新入会員アワー

### 高橋 満典 会員



今年の5月からメンバーに加えていただいた、三井住友銀行の高橋です。

出身は大阪府池田市、育ちは兵庫県川西市です。

出身地である大阪府池田市、育ちの場である兵庫県川西市は、地理的には大阪府と兵庫県の境目で、大阪の北摂地域、大阪国際空港にも近い場所となります。大阪府池田市は、北摂地域の住宅街で人口が約10万人、「呉春」という日本酒が有名な場所です。

刈谷とのつながりとすれば、ともに自動車産業が盛ん

であるということになります。

また、川西市は、池田市の隣にあり、大阪の中心部にも神戸にも30分程度で行ける場所にあるベッドタウンです。

刈谷とのつながりは、平安時代までさかのぼりますが、刈谷城を築城した「水野忠政」の祖先である「源満政」は清和源氏であるとのことですが、私の実家の近所にある「多田神社」に祀られている「源満仲」は「源満政」の兄だとのこと。

どうやら刈谷と川西は清和源氏というつながりがあるようです。

家族は大学の同窓である妻と大学2年生の長男、中学3年生の長女、加えて愛犬のトイプードルです。

私は1991年に当時の太陽神戸三井銀行、後のさくら銀行に入学し、神奈川県川崎支店・東京の新橋支店、その後大阪営業部を経て、今年4月に刈谷に参ります。これは、約18年間銀行の本部で融資企画や法人営業企画といった主に企画業務を行ってまいりました。

経歴の中で少し珍しいのは、日本生産性本部に出向し、主に工場内の生産管理に関するコンサルタント業務を経験している点でしょうか。

出向中は当時のIEを勉強させてもらっていましたが、クライアント先の工場に入り業務改善策をディスカッションさせてもらったりという貴重な経験をさせてもらいました。

当時は慣れない業務でもあり苦勞もしましたが、この時の経験はその後の本部勤務での企画立案にも大変役立つものと自身では考えております。

5月にロータリークラブに入会させていただいた際のご挨拶でも少しお話をさせていただきましたが、趣味としては、休日にウォーキングをしています。

気の向くままに歩いたり、ジョギングをしたりという感じですが、いい気分転換になっています。

私は現在単身赴任をしていますが、時間のあるときには週末に色々なところを探索して楽しみながら当地をより良く知っていこうと考えています。

現在の業務においては、足許で多様な経済イベントが発生しておりますので、「アメリカ大統領選による日本経済への影響」や、「東海地区における経済指標レビュー」といった各種の情報提供を含めて、皆様のお役にたつことができればと思います。

今後とも、ロータリークラブメンバーの一員として成長していきたいと考えておりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

古屋 俊児 会員



今回の大統領選挙結果は、ブレグジット（イギリスのEU離脱）と並ぶ2016年の2大サプライズとして長く語り伝えられるのではないかと思います。トランプ氏のツイッターのフォロワー数は実に1,600万人、ちなみにヒラリー氏は1,124万人、オバマ大統領は800万人です。ヒラリー陣営が使った選挙資金700億円に対して、トランプ陣営は半分以下の320億円とされています。ツイッターという無料の選挙ツールを駆使して、トランプ氏は少ない資金で要領よく勝利することができたといえます。「白人ブルーカラー層」を中心とした支持を受けたトランプ氏当選を市場は結果的に好感し、「トランプリスク」から一転して「トランプラリー」となっています。

先週の日本株は続伸し、日経平均はテクニカル的に週足の一目均衡表の抵抗帯の「雲」を上方突破しました。週足の「雲」を上下どちらかに突破した場合、その後半年程度の方向性を示唆するケースが多いので、今回の上方突破は強気シグナルとなります。今後については、19,000円から20,300円を戻りメドと見えています。

今回の日本株高はドル高円安を好感した面が大きい訳ですけれども、実際のところ、7月以降はむしろ株高が先行しドル高円安が追従する形になっています。このため、株高が持続するには今後もドル高円安の「後方支援」が必要となります。

日経平均は週足の「雲」を突破しましたが、ドル・円はまだ週足の「雲」の中です。ドル・円も「雲」を突破すれば、ドル高円安、ひいては株高の余地がさらに広がります。「雲」の上限は来月上旬まで1ドル＝115円前後ですが、中旬から112円前後に低下しますので、上方突破の可能性は十分あります。

日経平均と国内証券A社の日経平均先物買いポジションについて説明いたします。

昨年8月の高値(A)から9月の安値(B)までが「一段下げ」。9月の安値から12月の戻り高値(C)まで反発。12月の戻り高値から今年2月の「一番底」(D)までが「二段下げ」。2月の「一番底」から4月の戻り高値(E)まで反発。4月の戻り高値から6月の「二番底」(F)まで再び下落。しかし2月の「一番底」(D)を割り込まずに6月の「二番底」から反発。その後、今月の高値(G)が4月の戻り高値(E)を上回って、一番底→戻り高値→二番底→戻り高値更新となって「Wボトム」が完成しました。

「こうしたテクニカルポイントを踏まえた上で、流れを個人投資家の動きから振り返ってみたいと思います。」個人の動きを映す代表的指標の一つとして、「日経レバレッジETF」と「日経ダブルインバースETF」があり

ます。個人がこの2つのETFを売買すると、その結果は野村証券の日経平均先物の買いポジション(建玉)に反映されます。買いポジションは「一段下げ」(A→B)と「二段下げ」(C→D)でそれぞれ増加した後、「一番底」(D)から減少傾向に転じ、今月ついに「一段下げ」で急増する前の水準を下回りました。国内勢が投資を再開する余力は大きくなり、海外勢もまだ本格的に投資を再開しているとは言えません。真の勝者は日銀だけかもしれない。こうした点を考えると、相場の上昇余地はまだ大きいと見られます。

先月から現物のネットの裁定買い残(=買い残-売り残)が徐々に増えています。これは裁定買いを誘発する積極的な先物買いが入り始めたからです。先物の手口をみると、所要所で欧州証券2社がまとまった買いを入れました。裁定買い残の増加は裁定解消売りを引き起こすリスクと裏腹なんですけども、買い残の水準はまだ低いところです。欧州証券2社が先物売りに転じて大規模な裁定解消売りが誘発されるリスクを警戒する水準ではなく、逆に積極的な先物買いが入る余地はまだ大きいと判断したいところです。

一部欧州勢が先物買いを入れる一方、米国勢の動きは総じて鈍いような感じがします。シカゴの先物市場ではトランプ氏が8日に次期アメリカ大統領に決まってから1週間経った15日時点の投機筋のポジションが明らかになり、4つの大きな特徴が見られました。

1番目は、ドル売り円買いポジションは意外に小幅な縮小にとどまっています。まだ、縮小する余地があるということです。

2番目は、日経平均は大幅に上昇しましたが、日経平均先物の買いポジションはまったく増えていません。

3番目は、S&P500指数の買いポジションもまったく増加していません。

4番目は、ナスダック100指数の買いポジションは増えるどころか逆に減っています。トランプ氏の「ニュー・エコノミー」企業に対する否定的な考えが影響してアマゾン、フェイスブックなどのIT関連株が一時急落しましたが、それでも切り返して高値を更新しました。

これらから推測できることは、投機筋はまだトランプ・ラリーに乗れていない可能性が大きいということです。

個人や投機筋はあまりの急激な環境と相場の変化に付いていけないように見えます。特に個人はマスコミが論じる「宴の後」を警戒しているのかもしれませんが、宴というのは全員参加型の上昇相場のことです。今はそういう状況ではありません。

以上のことから短期的な視点で売買する向きが変化に付いていないということは、裏を返せば海外の年金や投

信など中長期的な視点で投資を行う向きが、しっかりと変化に付いている可能性が大きいと思います。実際、アメリカの株式投信にはアメリカ大統領選挙直後に大量の資金が流入しています。これが、アメリカ株を押し上げました。こうした状況では、目先スピード調整があっても、日本株が深押しするリスクは小さそうです。

### ガバナー補佐杯 親睦ゴルフ大会



### 11月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成28年11月23日(木)

於：葵カントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	鬼頭 一浩	82	10	72
2位	坂 茂	89	16	73
3位	大竹 憲治	92	18	74
B B	中川 耕兎	117	15	102



### 第 6 回 理 事 会

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 議 題
  - 1. 12月・1月のプログラム(案)について
    - 〈クラブ奉仕委員長〉
    - 〈プログラム委員長〉
  - 2. 新年例会並びに合同懇親会について
    - 〈幹 事〉

- 3. 第17回そろばんフェスティバル後援について
  - 〈職業奉仕委員長〉
- 4. RYLA セミナー参加について
  - 〈青少年奉仕委員長〉
- 5. インターシティ・ミーティング(IM)の登録について
  - 〈幹 事〉
- 6. 中部経済新聞社年賀広告について
  - 〈幹 事〉
- 7. その他

### III 会場監督の所見